

能

華麗なる鼓筒蒔絵の世界

遙かなる時を越えて響く鼓の音
鼓筒・生田コレクシヨンの名品が誘う
能、幽玄なる世界



笛 小鼓 大鼓 太鼓 地謡

能 天 鼓
前シテ 天鼓の父
後シテ 天鼓の霊
ワキ 勅使
間 勅使の下人
後見

◆第一部 狂言 盆 山 某 男 善竹忠重 善竹忠亮

◆開場後、ロビーにて
*鼓筒「生田コレクシヨン」代表作の展示
*小鼓体験コーナー
◆第一部
*生田コレクシヨンについて 解説/生田参昭
*鼓筒音くらべ

弄鼓 観世鏡之丞 江崎金治郎 善竹忠重 善竹忠亮 大西礼久 赤松禎英 今村嘉太郎 赤井啓三 大倉源次郎 上野義雄 上田慎也 上田拓司 浦田保親 笠田昭雄 武富康之 長山耕三 井戸良祐 今村哲朗

2005年 12月3日【土】14:30開演(13:30開場)

茨木市市民会館 ユーアイホール・大ホール*1階席のみ

茨木市駅前四丁目7番50号 072-623-3962

全席指定 A席3,000円 B席2,000円【9月20日(火)発売】

65歳以上、18歳以下、障害者及びその介助者は1,000円引き *就学前のお子様はご遠慮ください

■チケットの取り扱い・お問い合わせ

(財)茨木市文化振興財団072-625-3055(クリエイティブセンター1階 月~金 8:45~17:15 土・日・祝日休業)

*電話予約もお受けしますが、お席の希望はお聞きできません。予約後は、1週間以内に財団事務局でご精算ください。

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送料290円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお振替ください。

手数料はご負担願います。〈振替口座〉00970-7-190576/加入者名:財団法人茨木市文化振興財団

*窓口販売と電話予約が競合した場合は窓口販売を優先しますので予めご了承ください。

■その他の販売所

JA茨木市各店舗072-627-7762(本所総務課)/フミレコード阪急茨木市駅前店072-626-3723/朝日野村北摂販売072-643-8424/チケットびあ0570-02-9999-

チケットびあPコード予約0570-02-9966(Pコード363-945)/ローソンチケット0570-06-3005(Lコード58898)*びあ、ローソンでは割引の取扱いはありません。

■主催:(財)茨木市文化振興財団 〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 <http://www9.ocn.ne.jp/~ibabun/> ■制作:三栄企画 ■構成:大倉源次郎

小鼓とは、能楽や歌舞伎などの囃子や各種の民俗芸能で用いられる、日本固有の打楽器のひとつです(他に大鼓と太鼓があります)。小鼓は、独特な形をした「筒(どう)」を馬革から作った二枚の「革」(表革と裏革)で上下から挟んで、麻の縄を編んだ「調べ緒」で組んだものをいいます。この「筒」の内部は一本の桜材から中をくり抜くため、様々な作者が独特のカンナ目で彫り上げます。そのカンナ目や、表面に施される蒔絵の美しさから、「筒」そのものが美術品としての価値を持つものです。この「鼓筒」の生田コレクションは、明治・大正期、大阪麦酒会社(現アサヒビール株式会社)の創業に際し、醸造技術の責任者として参加していた生田秀氏とその長男・耕一氏を中心に蒐集された小鼓筒八十八本を根幹とする大変めずらしく貴重なコレクションです。その中から阿古、女阿古、千種、阿波、多武峯、南音羽、南折居、北下居、道本といった室町時代から江戸初期にかけての代表的な作者の作品の音比べ、聞き比べを行います。これほど多くの名人の作が一挙に公開演奏されるのは貴重な機会です。遙かなる時を越えてなお、私たちの耳に響く鼓の世界をお楽しみください。

◎解説

第一部 ◆生田コレクションについて ◆鼓筒音くらべ

生田コレクション所有者・生田秀昭氏所蔵の鼓筒を用い、各家各工房の鼓筒の流れとその音色を聞き比べます。

第二部 能楽鑑賞会

◆狂言「盆山」(ぼんざん)

近頃世間では、盆山(盆の上に石や砂などで風景をかたどった置物で、箱庭のようなもの)が流行っています。ある男が流行の盆山を欲しがり、盆山をたくさん持っている知人に譲ってくれるように頼むのですが、いくら頼んでもひとつもくれないので、男はこっそり盗みにやってきます。垣根を破って侵入し、盆山を物色しているところを見つかった男は、あわてて盆山の陰に隠れます。盗人が顔見知りだと気づいた主人は、さんざんになぶってやろうと、隠れているのは、「猿だ」、「犬だ」などといい、盗人はそのつど鳴きまねをするのですが、次に主人が言ったモノは?

◆能「天鼓」(てんこ)

中国・後漢の時代、王伯、王母という老夫婦がいました。二人には子どもがありませんでしたが、ある夜、妻王母は天から鼓が降ってきて体に入る夢を見ます。そうして夫婦は男の子を儲け、その子を「天鼓」と名付けました。ある日、少年・天鼓のもとに本当に鼓が天から降ってきました。天鼓がその鼓を打つと、それはそれは美しい音を奏で人々を感動させました。その噂を伝え聞いた帝は、その鼓を献上するようにと命じます。天鼓はその命令を拒み、鼓を持って山中に逃げますが、帝に見つけ出され、帝に背いたとして、呂水に沈められてしまいます。そうして召し上げられた鼓は、しかし、誰が打ってももう鳴ることはありませんでした。(能はこの後からはじまります)そこで、勅使(ワキ)が天鼓の父王伯(前シテ)のもとにつかわされ、宮中へ来て鼓を打つようにと命じます。愛児を失い日夜悲しみにくれる王伯は、自分が打ったところで鳴るはずがないと困惑しながらも死を覚悟して参内し、悲しみと懐かしさの心そのままに鼓を打ちました。すると、それまで誰が打っても鳴ることの無かった鼓が、心までも澄みわたるような美しい音を発し鳴ったのです。この奇跡に帝はおおいに感動し、たくさんの宝を与えるとともに、天鼓のための管絃講(かげんこう 音楽法要)を行うことを約束し、王伯を引き取らせます。(中入)帝は呂水の畔で天鼓を叩くための管絃講を行いました。すると、天鼓の霊(後シテ)が、管絃講の法要を感謝して現れ、供えられた鼓を打ち、喜びの舞を舞い、そして夜明けとともに幻のように消えていきました。



生田秀昭 (いくた・ひであき) 生田コレクション所有者
1944年生まれ。フラワートレッキングガイド「野の花塾」主宰(登山をしながら、山野草の名前などの解説をする)。「04年、京都・池坊むろまち美術館にて、「華麗なる小鼓筒蒔絵の世界」生田コレクション展開催。「05年、東京・国立能楽堂にて「鼓筒・生田コレクション展」開催。



観世銚之丞 (かんぜ・つねのじょう) 観世流シテ方
八世観世銚之丞静雪(人間国宝)の長男として東京に生まれる。伯父観世寿夫及び父に師事する。1960年4歳で初舞台。「64年「岩舟」で初シテ。「02年九世銚之丞を襲名。「03年襲名披露能で「當麻」を舞う。銚之丞家の当主として、また銚仙会の新棟梁としてこれからの能界を担う存在として期待されている。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技には定評がある。重要無形文化財総合指定保持者。社団法人銚仙会理事長。



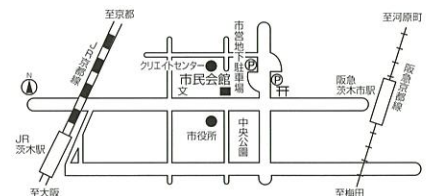
江崎金治郎 (えさき・きんじろう) 福王流ワキ方
1944年生まれ。十世江崎金治郎に師事。「56年「岩船」で初舞台。「69年「張良」、「70年「道成寺」、「72年「鷲」、「81年「羅生門」を抜く。江崎福王会を主宰。重要無形文化財総合指定。



善竹忠重 (ぜんちく・ただしげ) 大蔵流狂言方
1947年初代忠一郎の次男として生れる。父に師事。「54年「伊呂波」にて初舞台。「63年金春流宗家より祖父(弥五郎)・狂言方で初めて重要無形文化財個人指定(人間国宝)が善竹の姓を受け一家を挙げて改姓。「66年「三番三」、「71年「釣狐」を抜く。「87年弥五郎追善会にて「花子」を抜く。「91年重要無形文化財総合指定。日本能楽会会員。能楽協会神戸支部常議員。



大倉源次郎 (おおくら・げんじろう) 大倉流小鼓方十六世宗家
1957年大倉流十五世宗家大倉長十郎の次男として大阪に生まれる。「65年独鼓「鮎之段」にて初舞台。「70年初能「岩船」。「85年大倉流宗家を継承。「87年大阪文化祭奨励賞、「92年大阪市咲くやこの花賞受賞、「94年大阪文化祭受賞(団体)、「99年大阪舞台芸術奨励賞(団体)。日本能楽会会員。重要無形文化財総合指定。



(財) 茨木市文化振興財団

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号クリエイティブセンター1階 / TEL 072-625-3055 FAX 072-625-3036
ユアアイホール(茨木市市民会館) JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩8分

●住宅用内外装材加工・施工 ●トータルパッケージング

ゴウダ株式会社

全国8事業部
17工場

<http://www.goda-j.co.jp>

本社 大阪府茨木市東福井1-12-13
TEL 072-640-2200(代) FAX 072-640-2244
東京営業本部 東京都千代田区外神田4-14-2 東京タイムズタワー
TEL 03-5256-8011(代) FAX 03-5256-8014
所在地 大阪 / 東京 / 滋賀 / 名古屋 / 静岡 / 関東 / 東北 / 九州



GODA
PACKAGE & HOUSING MATERIALS